

先生、これからも…ずうつと側さ、いてけれな

く奥さんは教え子、初めてのハネムーンであまあま温泉旅行く

（■）お茶を飲んで、まったり過ごそっか（

【里琴】

はあ…やと着いたあ

んんう、畳の匂い…

いつもフローリングの部屋だったから、和室って、なんだか落ち着くなあ…

あれ…？ この扉は…

わあ、すごい！ 露天風呂まで付いてるんだー！

ほら、先生も早くこっちにおいでよ

【里琴】

そうそう、重い荷物はその辺に置いて、まずはゆっくり深呼吸っ

吸ってえ…吐いてえ…もう一度吸ってえ…吐いてえ

どう？ 普段嗅ぎ慣れない畳の匂い…

それに、山が近いせいか、空気が澄んでいる気がして…はあ、ここに来て良かったなあ

窓からの眺めも、自然豊かで見晴らしが良いし…

先生、素敵な旅館、見つけてくれてありがとね

そう…だよ。今日は、一生に一度しかない、新婚旅行だもんね

もう、先生ったら、私の好み良く分かってる！ そういうとこ、だーいすきっ

ぎゅううう

んん…？ お礼のハグだよ

あと、良い思い出作ろうねって意味の、ハグ

んんう、はぐはぐう…ふふ

先生の胸元、やっぱりほっとするなあ

このままぎゅーってして、ずっと甘えていたいかも

んんう…

ええ？ 暑いって、いつもハグしてるでしょー

っていうか、私が先生の生徒だった頃から、ぎゅーってしてるよ  
あの時、まだ教え子の関係だからダメ、なんて言ってたけど…今は違うよね  
里琴は先生の恋人で…奥さん、なんだよ  
だから、いつだってハグしても大丈夫なの  
ふふ、ほんとほろろくさいからそう言うんでしょう  
可愛いなあ、先生は

んっ…

もっとぎゅーってしちゃうぞお、なんて

二人きりの時間はたくさんあるから、まずは座ろっか  
もちろん、先生の隣に…

### 【里琴】

ふう…バス降りてから、ここまで歩いてきたし…実は、私も少し疲れちゃって…  
でも、やりたいことはいっぱいあるから、休憩した後は、外…出てみようね

この時期だと、紅葉が綺麗だろうなあ…

ん…ねえ、もっと近づいても良い？ 肩と肩が、ぴったりくっついちゃうくらい

### 【里琴】

んふふ…幸せだねえ

先生とだったら、こうしてのんびりしているだけで、何時間でも過ごせそうだなあ

一日中は…うーん、どうだろ？ 何もしないで、二人でずっとお話するの

いつか挑戦してみる？ 今日は特別な日だから、また今度ね

今は並んで座りながら、まったり過ごそっか…

んう、はあ…こういう雰囲気、最高だなあ

いかにも旅行に来たって感じ、するよね

周りの空気や、景色もそうだけど…このテーブルの上に載ったお饅頭とか

旅館あるあるだよ

あとお茶も用意されてるし…ね、喉乾かない？

なら、私が先生の分も淹れてあげる

紅葉狩りの前に、一息つかなくちゃね

…ええと、急須の中に茶葉とお湯を…

よし。じゃあ、湯呑に注いでいくね

はい、どうぞ

あ、湯気出てるし熱いよね。私が、ふうーふうーってして、冷ましてあげる  
舌を火傷しちゃったら大変だから…気を付けないと

ん…ふうー、ふうー、ふうー、ふうー、ふうー…  
はい、どうぞ

…お茶、美味しく淹れられたかな？

ほんとに？ どれどれ…

…ん、ずずず……はあ、あったかい  
身体の内側から、ぽかぽか温まる感じ、するね

ん…ずずず、はあ…落ち着くぅ

あ、このお饅頭、お茶に合いそうだね

はい、お饅頭もどうぞ。餡子とお茶は相性良いから

ね？ お茶の苦みに、お饅頭の甘さが広がって…ほっぺが落ちちやいそう

あ、お茶…まだ熱かった？ 仕方ないなあ…またふうーって、してあげるね

ん…ふうー、ふうー…ふうー…

はい、これで丁度いいかな

うん、大丈夫そうだね

ふふ。先生って、意外と猫舌なんだー。新しいポイント、見つけちゃったかも

…ん？ 特に意味はないけど…何だろう、可愛いポイント、みたいなの？

こうして、先生の新しい一面っていうのかな、そういうところを見つけれられるのって、嬉しいなあ

ん…ずずず

はあ…私も、少し冷まそうかな…

ふうー…ふうー……ん、どうしたの？ 先生

私のこと、そんなにじっと見つめて…

あ、もしかして…先生にも、ふうーって、してほしかったり？

ただ見惚れてただけ…？ 怪しいなあ

【里琴】

…先生。ほんとほ、私に…してほしかったんでしょ  
こうして…ふうー、ふうー……ってね  
んふふ…右の耳、くすぐりたい？ でも、だんだん…気持ち良くなったりして  
ふうー、ふうー……ふうー……くすっ

【里琴】

あらら、涼しくなるどころか、先生の顔、真っ赤になっちゃった  
…先生？ こんなことで照れてたら、この先、どうなっちゃうんだろうね  
二人っきりの時間は、まだまだあるんだから…

私のこと…耳元よりも近い距離で、いっぱい…感じてね

（■ 手作りサンドイッチと、飴色吐息）

【里琴】

すうう……はあ、空気が美味しいね  
自然の味、っていうのかな  
それに…

風にも、匂いがあるよね

…周りの山、木や葉っぱ、踏みしめた地面からも薫ってくる、緑の匂い  
都会だったら、こんなに美味しい空気は、滅多に味わえないよー

んうゝつ、はあ…。最高！

聞いていた通り、ほんとに良い景色だねえ

秋も深まって、周りの自然が真っ赤に色づいてる

こういうのを、燃えるような紅葉っていうのかな

ほんとに燃えちゃったら大変だけど…画像で見るよりも色鮮やかで、とっても綺麗…  
燃えるようになっていう喻えも、ぴったりだね

…わあ、あっちのもみじも綺麗！

【里琴】

赤色の中に、薄い黄色も混じって…そうだ、写真撮らなくちゃね  
上手く…ピントを合わせて…っと

…うん、良く撮れてるっ

【里琴】

あ、こっちの景色も良いなあ…青空と紅葉が合わせてえ……。あ、ごめんねっ

【里琴】

私ったら、ついはいしゃやって…

その…先生と、この場所に来れたのが、とっても楽しかったから…

でも、写真を撮るなら、景色だけじゃなくて…先生と一緒の方が、良いよね

思い出は心に残るけど…形として残しておいたら、後から二人で見返せるから…

写真、撮ろ？

え、恥ずかしいの？　せっかく良い景色なんだから、私は一緒に写真撮りたいよ…  
それに新婚旅行なんだから、後から見返した時に、私が一人で写ってるだけでしょ？  
そんなの…悲しいもん。

私は…先生と一緒に、良いから…ね？

…そうそう、もう、恥ずかしがらないで！  
もっここちに寄って

もう、もっただってえ。こういうふうに―ぴたりくっ付くの  
うん、いい感じ。じゃあ、笑って？

うーん、少しぎこちないかな  
心の底から、にこつ、って、できない？　アイドルみたいに

難しいかあ…でも、面白いギャグも思いつかないし…あ、そうだ  
こういうのは、どう？

先生の大好きな胸元を…ちらっ、てね

ふふ、何さー。いつも先生、私のおっぱい見て、にやってるでしょ？　だから、良い  
方法かなーって

あはは、そうだよ。それじゃ、にやけ顔になっちゃうよねー、ごめんごめん  
けど先生、今の自然な笑顔だったよ

そう、その顔のまま…はい、チーズ！

…どれどれ、うんっ、良く撮れてる！

青空と紅葉…私と先生の、ベストカッブルだね

…あ、やっぱり胸元は、谷間が見えるようにした方が良かった？  
ふふ、冗談だよー

…でも、先生になら、そういう写真、あげても良いかも

むう、素っ気ない反応だなー。さすがにもう引っ掛からないかあ

…一応、本気だったんだけどな…

ああいや、何でもないって

それより、そろそろお昼にしない？　私、お腹空いちやった

…あ、先生も？　じゃあちょうど良いね

食べる場所は…どこにしようか？

確かに、陽の当たらないところの方が、涼しくて過ごしやすいよね  
なら、木の側が良いかな

背の高い木と、真っ赤な紅葉が、木陰を作ってくれる場所…あそこなんか、ちょうど良さ  
そうだね

よし、決まり。ここにレジャーシートを広げて…

はい、どうぞ。ずっと歩きっぱなしだったから、ここでゆっくりしようね  
ん、しょ…

### 【里琴】

ふう…風が心地いいねえ

…自然に囲まれながらのお昼ごはん、きつと、いつもの何倍も美味しく感じるよ

…楽しみ？ 今日作ってきたのは、なんと！ サイドイッチでしたあ

お肉とお野菜たっぷり！ ふわふわの卵サンドもあるよ

先生、これ好きだもんねえ

はい、どうぞ…と、思ったんだけど

せっかくだし、あーん、したいな

えー、良いでしょ？ 誰もこっちの方は見てないって、ね？

ふふ、優しいなあ、先生

じゃあ、まずはチキンサンドから、はい、あーん

…美味しい？ 良かったあ

次は、卵サンドの方ね。はい、あーん

…どうかな？ なんて、その顔を見れば、美味しいって分かるけどね、ふふ

…じゃあ次は、その美味しいサンドイッチを、私にも あーん」してほしいな

なに、その顔。私も あーん」したんだから、今度は先生の番でしょ？

恥ずかしがってないで、夫婦なんだし、私に先生の あーん」、ちょうだい？

あーん。

ん、はあむ……ん、美味しい

先生……ありがと

……え？ 顔赤いって……むう、そんなこと言うと、仕返ししちゃうよ

どういうふう……って……あ、先生の頬っぺた……

……サンドイッチのソース、付いてるよ。……ん、ちゅっ

ご馳走様でした

……あ、先生の顔、燃えてるみたいに真っ赤だね

こっちの紅葉も、見応えあるかも……ふふ

どうしたの、先生。手が止まってるよ。サンドイッチ、またあーんしてあげよっか？

えー？ ほんとはして欲しいくせに。はい、あーん……

って、あれ……修学旅行で来た生徒かな

あーんするところ、見られちゃったね

まあ、他校なんだし大丈夫だよ

……ていうか、あのセーラー服、可愛いね

うちの学校はブレザーだったから、セーラーも着てみたいなあ

先生も、見てみたい？ 私のセーラー服姿

ちよ、コスプレってどういう意味？

私だって少し前までは……ん？ サンドイッチ、食べ終わったの？

うう……そんなに褒められると、嬉しいけど、恥ずかしいな

えへへ、ありがと、先生

私も最後の一口を……あむ、んう……もぐもぐ、ん……美味しかったあ

旅館には、もう少しだけゆっくりしてから戻ろっか

ちようど良いところに木があるし、ここに二人並んで……

ん、しよ……

## 【里琴】

今度は、こっち側にちゃった

……だって、色んなところから、私の声……聴いてほしいから



ん、はあ……  
落ち着く……

あそこの生徒たち、楽しそうだね

……懐かしいなあ

場所は違うけど、学校の行事で、紅葉……見たことあったよね

あの時は、私はまだ先生の生徒で……でも今は、先生の恋人、なんだよ  
不思議、だよ

先生は、今の関係に、慣れた？ それとも、まだぎこちない感じ、する？

分かんない、か……

私も同じ

関係は変わっても、結局、あの頃と同じ気がする

先生は、先生のままで……私は私のまま

あの頃も、けっこうスキンシップとか多かったしね

私、絶対に先生を落とすんだ……って頑張ってたから

……ばれてた？ あはは、そうだよ

放課後とか、良く勉強教えて……って先生のところに行ったり……

ほんとは、勉強できるのにな

……あ、やっぱり気付いてたか……。……その、迷惑とかじゃ、なかった？

そっか、えへへ。先生のおかげで良い復習になったし、テストの点も上がったんだよね

先生ったら教えるの上手だし、正解したら褒めてくれるのが嬉しくて……。あと、応用の難しい問題が解けた時には、ご褒美……。くれたよね

ほら、これ……。オレンジ味の飴玉

先生がくれたものと、同じだよ。懐かしいでしょ

食後のおやつに、はい、あげる

飴……。美味しい？ ふふ、私も一個だけ舐めちゃおう

……。いただきます、あむ

んん、美味しいねえ

あの頃と、変わらない味

先生との、思い出の味……。かもね

んふふ…今、私と先生、おんなじ味を…半分こ、してるんだね  
…キス、してないのに

ねえ…先生

もしかして、意識…しちゃった？

…私の唇、オレンジの味、するよ

…先生が、今…舐めてる味…

あ…飴玉、なくなっちゃった

先生も…？

そっかあ…甘酸っぱい味、もっと…ほしかった？

じゃあ…私の…まだ、残ってると思うから…あげるよ

…こっち、向いて…

### 【里琴】

んう…ちゅう…

ん…ちゅっ、ちゅ…ちゅう……はあ

大丈夫…誰も、見てないよ…

んう…ちゅっ、ちゅ、ちゅう…

私たち、二人だけ…んう、ちゅっ、ちゅうちゅっ、ちゅ…

はあ…外なのに、やりすぎちゃったね

その、どう…だった？

柔らかくて、甘酸っぱい味、したんだね

…ふふ、もっと…味わいたい？

…私も、だけど。続きは、また後で…旅館に戻ってから、ね？

### 【里琴】

んーっ、はあ…

このまま、もうちょっただけ、寄り添っていいよっか…

お昼ご飯食べたら、ん…ふわあ…眠くなって、きちゃった…

んう……目、閉じよ  
んん……風、気持ち良いね  
ん……すう、すう……すう……  
先生のぬくもり、あったかい……  
すう……ん、すう……すう……すう……  
……

( ■ 3 浴衣で膝枕といえど... )

【里琴】

ただいまーって、自分の家じゃないのに、つい言っちゃった  
だってこの部屋、すごく落ち着くんだもん。畳敷きだから、実家を思い出すし...  
けど...一番の理由は、先生と一緒にだから、かな  
...ふふ、先生。私ね、なんかまた、ぎゅーって、ハグしたくなったなあ...  
...だめえ？ って、先生が頷かなくても、結局しちゃうんだけどねー

【里琴】

はい、ぎゅうううう  
私の愛、伝わった？

んー、少し暑い？

えへへ...実は私も

紅葉狩り、とっても楽しかったけど、身体...火照っちゃったね  
この服だと暑いから、涼しい恰好に着替えよっか

うーん...せっかくだし、旅館といえど、浴衣じゃない？

ちよっと待ってて、取って来るから

【里琴】

はい、先生の浴衣

私も着替えるけど...後ろ、向いてなきゃダメだよ

えー、ほんとに？ 先生むっつりだから、私の着替え、見たいんじゃない？

くすっ、想像するだけなら、許してあげる

ちゃんと後ろ、向いててね

ん...

ふう.....

先生も着替え...終わった？

なら、もう見ていいよ

…どうかな

先生は、とっても似合ってるよ

…私も？ えへへ、ありがと

…ねえ、先生

せっかく浴衣に着替えたんだし、少しやってみたいことがあるんだけど、良い？

じゃあ、私が正座するから、膝の上に頭を乗っけてみて

そう、膝枕だよ

浴衣といったら、膝枕のイメージ、ない？

えー、私だけかなあ？

畳敷きの部屋に、浴衣の美少女といたら、普通、膝枕じゃない？

とにかく、頭を載せてみて

最初は、右耳が上になるように…さ、おいで

### 【里琴】

ん…どうかな

あったかくて、柔らかい？

…良い匂いも、するの？

褒めまくりだねえ、先生

ほんとは、少し汗の匂いとか…しない？

…そっか、大丈夫、なんだ。私の膝枕、評判良いみたいだね

でも、この程度じゃないよ。これからが本番

やっぱり、膝枕といえどこれ、耳かきだよ

旅館に用意されてる、アメニティグッズっていうの？ そこにあったから、持ってきたんだ

女の子の柔らかな感触と、この耳かきが合わされば、最近お疲れ気味の先生を癒すことができるかな、と思ってる

…もう、嘘ばかり

先生が疲れてることくらい、お見通しだよ

良いから、私に任せて。耳かきって、ほんとに癒されちゃうんだから

あー、信じてないでしょ

どこかの誰かさんが、百聞は一見にしかず、って言ってたよね？

そろそろ観念して、私に耳の穴を隅々までお掃除されてね、先生

…ん、んう…

カリカリ、カリカリ…

カリカリ…カリカリ…

…耳垢、けっこう溜まってるねー

ふふ、恥ずかしい？

私はそんなの、気にしないけどなあ

…だって、私たちって…夫婦、でしょ

一緒に暮らし始めて、普段は分からないようなところも、見えるようになったよね  
例えば…意外と、お掃除が苦手なところとか…朝、弱いところとか…

そういう一面も、私は…好きだよ

だから、安心して…

身体から力を抜いて、いつも通りの、先生でいてほしいな

私は、先生のどんなところでも、受け入れるからね…

ん…カリカリ、カリカリ…

カリカリ…カリカリ…。カリカリ、カリカリ…

ん、しょ…ん、はぁ…ん、んう…

…少し、くすぐりたい？

でも、気持ち良いでしょ

ただ、カリカリ…って、耳の中を撫でられてるだけなのに、不思議…だよ  
細かな耳垢が、皮膚から剥がれていく、あの感じ…

懐かしいよね

この気持ち良さは、自分で耳掃除しても、中々味わえないから…

…どうしてか、分かる？

…少し、考えてみよっか

ふふ、何だか私が先生になったみたい

たまには、こういうのも良いよね

ん、はぁ…カリカリ、カリカリ…

カリカリ…カリカリ…

ん、ふう…

今度は、深いところをお掃除していくよ

浅い部分よりも、もおっと気持ち良くなるからね…

ん、はあ……ん、んう……  
かきかき、かきかき……  
かきかき……かきかき……

ん、はあ……ん、んう……  
気持ち良さの理由、分かった？

……そう、正解

自分でお掃除するよりも、誰かにしてもらった方が、感じ易くなる  
手を触った時も……おなじだよね

手のひらも……耳の穴も……どこを触られるか、分からないから……  
びくって、しちゃうよね……

ん、はあ……ん、んう……

だけど、もう一つだけ……気持ち良くなる理由、あるよ

それはね……大好きな人に、してもらっているから

耳かきだけじゃなくて、お料理や、何気ない会話とかからも……  
大好きっていう気持ち……感じると思うんだ

先生に……伝わってるかな

気持ち良くなって……心から、リラックスしてほしい……私の思い  
この耳かきを通して、いっぱい……受け取ってね  
ん、はあ……んっ、ん……

……んう、しょ………ん、ふう……

かきかき……かきかき

奥から、手前へ……奥から、手前へ……

かきかき……かきかき

かきかき……かきかき

ん、んう……ん、しょ……

ん、んう……

……ん、……んう、……んっ、ふう……

はい、右耳はこれでお終い

……と、見せかけて

……んう、ふう………

これで、本当にお終い

次は反対側をお掃除するから、左耳が上になるように、頭をごろんってしてね

【里琴】

んう…

じゃあ、左耳も、お掃除していくね

…私の愛情、いっぱい感じてくれると、嬉しいな…  
んう…

カリカリ…カリカリ

カリカリ…カリカリ

ん、しょ、んう…

左の耳も、いっぱい溜まってるね

部屋の掃除をする時間もないくらいだから、耳の中なんて、気にならないよね  
…だけど

…カリカリ、カリカリ

こうしてお掃除すると、溜まってる耳垢と擦れて…よく分かるでしょ

これからは私が、先生のお部屋だけじゃなくて…耳の中も、綺麗にするからね  
浅い部分から、奥の…見えづらいところまで

かきかき…ん、かきかき…かきかき

ん、んう……はあ…

左耳も、気持ち良くなってきたでしょ？

耳かきってね、心が安らぐ効果もあるんだよ

普段は触れない、耳の穴をお掃除される心地良さと…この音  
意識してみて

どう…？ 分かる…かな

穴の中を優しく撫でる、耳かきの音

それが、耳のすぐ側で聴こえて…だんだん、心が落ち着いてくるよね

それに、可愛い女の子の、膝枕付き。くすっ

…先生、今日のために、ずっと無理してたよね

新婚旅行があるから、毎日頑張ってる…

家に帰る時間は、そこまで変わらなかったけど…お仕事、こっそり持ち込んだでしょ

…先生は優しいから、私との時間も、大切にしてくれて…

だからね、今日は先生の溜まってた疲れも、癒してほしかったんだ



…ふふ、先生が疲れてたの、すぐに分かったよ  
だって、私が先生の、一番近くにいるんだよ。昔も、今も…。この先も、ね  
先生との時間はたくさんあるから…たまには、息抜きしないと

…ん、私？

私は大丈夫。こうして先生に膝枕をして、耳掃除するの、楽しいんだ  
ゆっくり、二人だけで会話もできるし

私はこの時間…大好きだな

…先生も、好き？

そっか。両想いって…私、とっても嬉しい！

ん、はあ…ん、んう…んっ、ふう…

…先生。疲れた時は、隠さないで、ちゃんと言ってね

この膝枕で良かったら、いつでも貸してあげる

私は、先生の奥さん、だから…

昔みたいに、後を追いかけるだけじゃなくて…隣に並んで、先生のことを、支えていきたいな

うんっ…約束、だからね

ん、んう…

んっ…はあ…

あと、もう少し…

ん…んう…んっ、…しよ…はあ…

んう…ん…

すう…ふうー…

左耳も、綺麗になったね

これで耳のお掃除はお終いだけど…んっ  
私の膝枕…そんなに、気に入っちゃった？

へえ…素直な先生、可愛い

ふふ、良いよ。先生が満足するまで、このままでいよっか

んん…太ももにすりすりするの、気持ち良い？  
なんか先生…わんちゃんみたいで、頭…撫でたくなっちゃった

よしよし、わんちゃん良い子良い子…くすっ

眠くなったら、このまま寝ちゃってもいいからね

…いつも頑張ってる先生には、ご褒美をあげなくちゃ

…偉い偉い、よしよし……なでなで、ってね

んう…先生の髪、柔らかい

はあ…幸せ、だね

このまま…ずうっと、一緒に…

……ん、先生…

だーいすき…

（■「露天風呂に浸かりながら、お酌してあげるね」

【里琴】

先生、こっちこっち。もー、早くお風呂に入ろうよお  
どうせ後で取るんだから、タオルの結び目なんて、気にしなくて良いって  
さ、早くこっちに来て

【里琴】

わぁ…露天風呂って、なんか贅沢な感じするよね  
湯気の向こうに見える、山の眺めも良いし…、二人で入るだけなのに、こんなに広くて…  
んう…開放的だねえ  
それに、この夜風…うう、お風呂なのに、少し肌寒くなってきたね  
早く入ろっか

…あ、そうそう、これを持って行かないと  
…ん？ 気になる？

露天風呂と言えばこれ、日本酒の入った徳利とお猪口のお酒セットだよ

ちゃんとお盆まであるし、この旅館、用意が良いよねえ。

耳かき棒の他に、こんなものまであるなんて…

これで、二人だけの混浴、もっと楽しめるね

さ、先生。「一緒にお風呂…入っちゃお

んう、あったかい

このまま、首の下まで浸かるとお…

【里琴】

んんう…っ、あああ、気持ち良い…っ  
お湯の熱さが、全身に沁み渡って…ん、はああ…癒されるねえ  
ん…ふうう…極楽極楽うう。ふふ、言ってみたかったんだあ、この台詞  
でも、ほんとにそんな感じ、するな  
こんなに気持ち良いお風呂に、先生と一緒に入れるなんて…まさに極楽だよ  
ふうう…

そろそろお酒…飲んじゃう？

きつと、いつもより美味しく感じると思うよ

広い露天風呂に、山から吹いてくる夜風……あとは、可愛い女の子のお酌……きつとじゃなくて、絶対、美味しく飲みちやうね

…じゃあ早速、お注ぎしますねー、先生  
この小さなお猪口に…日本酒を…

はい、どうぞ

…わ、良い飲みっぷり

最近、お仕事が忙しくて、お酒…飲めなかったもんね  
けど、もう少しゆっくり飲んでほしいかな

お風呂に入っているから、酔いが回り易いし…二日酔いになるの、嫌でしょ？

ふふ、だよ。先生ったら、二日酔いの時はいつも頭痛いーとか、具合悪そうにしてるから…

何事も、程々が一番だよ

…まあ、二日酔いの感覚は、まだ飲めないから良く分からないけど…先生、すごく辛そうにしてるよね

もし、今度そうだった時は、私が膝枕して、頭なでなでしてあげる

もう、照れなくて良いってえ。今さらでしょ、先生

夕食前は、私の膝枕にたっくさん甘えてた癖に

…さ、もう一杯…どうぞどうぞ

今度は景色を見ながら、少しずつ飲んでね

…うん、そうそう

このくらいのペースがちょうど良いかな

あーあ…早く私も先生とお酒飲めるようになりたいなあ

確かに…あと少しだけど

こういうところで、一緒に飲みたいの

…え、また…来れるの？ ありがとつ、先生

だーいすきっ、ぎゅうう——って、わわっ、危ない危ない…お酒こぼれるところだったよ、あはは…

ごめんね…それくらい、嬉しくて…

あ…お酒、なくなっちゃった？

じゃあ、またお酌するね  
はい、どうぞ

…お酒、美味しい？

いつもより、美味しく感じるんだね。良かったあ

お風呂に浸かりながら、星空の下で…なんて、とっても雰囲気良いよね  
…あ、気づいてなかった？

山の景色だけじゃなくて、夜空も見上げてみて  
ほら…綺麗でしょ。数え切れないほどの星が…輝いてる  
こんな夜空、都会だったら絶対に見られないよね  
ふふ…

先生、お代わりはいかが？

…もう、もっとこっちに寄って

はい、注ぐよ…

このくらいかな

先生…顔、少し赤くなってるよ

酔いが回ってきたの？ それとも…私のこと、意識しちゃった？

そうだよねえ。だって、隣にバスタオル一枚の妻がいるもんね  
それも、若くてとびっきり可愛い、お嫁さんが。ふふっ

先生、別に遠慮しなくて良いんだよ

山の景色や、星空も綺麗だけど…私のことも、もっと…見てほしいな

## 【里琴】

ん…先生の顔、近いね

…その。頬っぺた、触って良い？

ん…あったかい

こうして手を伸ばせば、先生に…触れちゃうんだね  
手のひらの他にも…唇、とかも

ん…先生…ちゅっ

お酒の味…するね

んう…もっと、ちようだい…ん、ちゅっ、ちゅう…。ちゅっ、ちゅう…はあ

キスだから、大丈夫…だよ

あ…もっとお酒、ほしいの？

ふふ…先生、これが最後のお酒だよ…

なんだろう……こうしてお酒を注いでいると、やっ…夫婦になった感じ、するかも

…って、先生、そんなに早く飲んだら…んん！？んちゅっ、んむ、ちゅう…っ

あっ…んれる、れる、んれる…ちゅっ、はあ…口の中、先生とお酒の味でいっぱい…

んう…先生の方から、キスしてくるなんて…初めて…だよ。嬉しいなあ

…ん…先生…ん、ちゅっ

お返しの、チューだよ

え…私も顔、赤くなってる？

…先生のせい、だよ

さっきの、ちょっと強引なキスで…酔っちゃったのかも

…ふふ、なんてね

( ■ 先生……だーい好き )

【里琴】

お風呂……すっきりしたね

先生は……もうこのまま、お布団で寝たい？

そっか……実は私も、まだ眠たくないんだ

きつと、今日は色々なことがあったから……気持ちが高ぶって……目が冴えてるのかな  
……ね、先生。眠くなるまで、少し話さない？

ふふ、そう来なくっちゃ。じゃあ、先生の毛布の中に入っちゃうね

お邪魔しまーす。んう……先生のお布団、ぽかぽかするね

それに……すんすん、先生の匂い、する……

ふふ……すりすりい

え？ いや、こうしたら私の匂いもつくかなあって……。どう？ くんくんしてみて

まだ分かんないかあ。じゃあ、私の匂いでいっぱいになるまで、毛布の中に潜ってるね  
んふふ……

先生の温もり……ほっとするなあ

先生は……私とくっ付いてると、落ち着く？ リラックス効果……ある？

……そう？ 嬉しい……

けど、左胸の奥……ドキドキしてるね

実は……私も、なんだよ。ほら、触ってみて

……ん。ね？ どくんどくんって、鼓動……早く感じるでしょ

このドキドキは、緊張してるってわけじゃなくて……たぶん、先生と同じ気持ちかな  
もし……そうだったら、先生も……分かるよね

相手のことが大好きで、意識してるから、こんなに胸が高鳴ってるんだと思う  
どくんどくんって……恋してる、みたいに……

ふふ……私ね、いつまでも先生に、恋してると思う

先生のことが大好きで、頭を撫でられたり、ぎゅーって抱きしめたり……。  
ずっと隣にいたい、っていう気持ち

あの時から、ずっと私の中に…あるんだよ

先生は…憶えてるかな。私が、転校してきた時のこと

…うん、親の仕事の都合で、田舎から上京してきて…

もちろん、慣れない環境で、不安はあったけどね

都会って、駅の中とか迷路みたいで…街並みも全然違うし…

電車の種類も急行とかいっぱいあるし…

でも、だからこそ、ワクワクする気持ちもあったんだ

この新しい環境で、いつも通りの自分を出せれば、きっと大丈夫だって。

上手くやれるって、思ってた

ほら、私ってこんな性格だし…明るさが取り柄だから

そういう気持ちで、転校初日に、黒板の前で元気良く挨拶したら…

いきなり、皆から笑われちゃって…

うん、思いつきり方言で喋っちゃったから…。おかしかったんだと思う

私としてはいつも通りに、ふっ—に話ただけでも…皆にとっては違ったんだね

もちろん、悪気があったわけじゃないと思うよ。それが普通だと思う

けど、あの時…寂しかったんだ

今日から同じクラスで、一緒に勉強したり、お弁当食べたり、はしゃいだりするの…

私だけ、皆とは違うのかなって…

そう考えたら、頭の中、真っ白になっちゃって…

この後、どう反応すれば良いんだろう…って思うと、言葉が出てこなくて…

そんな時、先生が助けてくれたよね

皆の前で、いきなり方言で話し始めて…私、びっくりしちゃった

…後々考えると、先生って皆に優しいし、

そこまで印象に残ってない出来事かもしれないけど…

あの時助けてくれて、本当に嬉しかったし、救われたんだ

…ありがとう、先生

先生は…私に勉強のことだけじゃなくて、恋も…教えてくれたんだよ

ん…先生…

これから先も、ずっと私の隣で…ドキドキ、してくれますか？

ん…嬉しい



先生……だーいすき  
んう……

【里琴】

——ちゅっ

先生の唇……柔らかい……んう、ちゅっ

んう……ちゅっ……ちゅう、ちゅっ、ちゅう……

はぁ……まだ、お酒の匂い、残ってるね

あ……そうだ、先生、これあげる

まだ余ってたんだ。オレンジ味の、飴玉

これ舐めたら、お口の中すっきりするよ

……でも、普通にあげるのも面白くないから……ちよっと待ってて

取り出した飴玉を、私が口に含んで……ん

先生のお口に、プレゼント……んう、ちゅっ、んれろ、んんう……

はぁ……飴玉、美味しい？

ふふ……良かった

んう……先生

もっと……ぎゅーって、して

こーやって……ぎゅーうって

……ん、あ……んう、んっ……

先生の身体、大きいね……

ん、あぁ……抱き締められると、落ち着くなぁ……

んう……はぁ……あっ

頭……撫でてくれるの？

ふふ……先生の手、優しいね……

ん、はぁ……じゃあ、私も先生の頭、よしよししてあげる

……はい、よしよし。良い子良い子……

……くすっ。言ったでしょ、今日は私が、先生を癒すって

だから、私はもう充分。今度は、先生の番だよ  
さ、仰向けになっ……

【里琴】

これで先生の耳、また近くなったね…

ということは…私の気持ち、すぐ近くで…伝えられるね  
んう…先生、好きだよ

好き…大好き

…だーい、すーき

…すーき…

ふふ…先生。そういえば、お口の中の飴玉、なくなった？

んん？ 良く見えないから、直接…確かめさせてね

【里琴】

んう…ん、ちゅっ、ちゅう…んれろ、れる…ちゅっ  
ちゅぽあ…はあ、ほんとだ

先生のお口、飴玉…なかったね

代わりに、オレンジの…あの頃の味が、する…

ん…ちゅっ、ちゅろ、んちゅう…はあ

懐かしいね…。けど、私たちはもう、夫婦…だから

んっ…ちゅっ、ちゅっ、ちゅう…はあ

先生…

…愛してる…

ん…ちゅっ…

( ■ 9 ずっと側さ、いてけれな )

【里琴】

ん……すう……すう……すう……

ん、んう……あれ、朝あ……？

んうゝ！ はあ……

先生の寝顔……可愛いな

……無防備な頬っぺたを、つんつん。ふふっ

あ、起きちゃった……

おはよう、先生。それとも……ダーリン、って呼んだ方が、良い？

……だって、いつまでも先生って呼んでたら、あの頃のままでしょ？

私ね……やっと分かったんだ

ここに来た時、先生は、先生のままで……私は私のままって、言ったよね  
でも……今日、色んなことして……ドキドキ、して……

やっと、言葉だけじゃなくて、私たち……結婚してるんだって。  
愛し合ってるんだって、実感できたの

だからね……ダーリンって、呼びたいな

もちろん、先生って呼んでほしい時は、ちゃんと言ってよね。

そういうプレイの方が燃えたりするでしょ？ ふふっ

あ……ダーリンのスマホ、鳴ってるね

けど、出ちゃ……やだよ。今は、私だけを見て……ん、ちゅっ

ねえ……今日はこのまま、もう一泊……しちゃおっか

もつとダーリンと、一緒の時間……ほしいな

ふふ、ありがと。大好き……ん、ちゅっ

……これからも、私の隣に……ずっと側に、いてね……

( END )